

## 礼子という僕のお母さん

長男 横山 剛

お母さんが僕に最後に残してくれた二つの大切な大切な言葉。

「二期一会 大切な大切なあなた」

「死んだときにもって帰れるものは、物なんかじゃなくて、目の前の人のありがたうという感謝の言葉とその笑顔の思い出だけ」

僕は、ある生まれる前の記憶があります。

神聖な宮殿に僕はいました。

神様みたいな大きな存在の近くに、お母さんがさみしそうにしてみました。

僕は、ここに行つてあげよう……。

小学校の頃のある日、弟の功が、話をお母さんかお父さんに話していたんです。「いさおはな、お母さんがかわいそうだったから、お母さんのところへ生まれてきたんじゃない」

そのことを数年前に、弟にきいたことがあるんですが、全く覚えてませんでした。

ただ、間違いないことなんです、だって、「あれっ、いさおも俺と同じ夢みてるんだあ」と、明確に覚えることなんですから。

もしかしたら、今、お母さんは、その宮殿のあるところへかえつていつてるということなのかもしれないね。

生前、お世話になったなどを使う「生前」という言葉って面白くないですか？

生きる前……。ぼくらが今、存在してるほうが、生きる前。お母さんが今回、かえつていったほうが、本当の『生きてる』ほうなのかもしれません……。その宮殿があるほうがね。



スイス ルツェルンの市内観光で（2001年）

まあ、そんなことを考えながら、母の死に、よくありがちな、ただただショックをうけるだけではなく（笑）、いろんな意味や生と死について、考えたりもするわけです。母の死を受け容れるわけです、究極、母の死に感謝できるようにするわけです。自分が生きていく上で、母の死に、意味をもたせるわけです。

じゃないと、もったいないから。お母さんがわざわざ、身体をはって、僕にあなたに、プレゼントしてくれたことだから。

最近、東京の高田の馬場というところに、預言カフェというところがあるんでいつてきたんですが、オーラの泉の江原さん（美輪明宏さんの隣にいる人♪笑）みたいな不思議な方がいるんですね。その方のメッセージの中に

「家族との関係を祝福します。家族、近い存在、心のよりどころ、良き協力者から愛され、期待され、面倒をみられて育ってきた、愛情を受けてきました。そのことを誇りなさい。そのことが、あなたに、いい資質を与えているのです」というような言葉が。

なるほど、やっぱり、お母さん、お父さんは素晴らしい、感謝しかないな、ほんと……。そして、これから、僕自身、より楽しく、よりしあわせで、より多くの人のお役にたてる愛の生き方をしてい

かないとダメ。

あと、また違う不思議な人にもね、最近、「本当の生」の世界にいるお母さんから、お父さん（一致さん）、いさお、野田屋町のおじいちゃん（母の父、ぼくのおじいちゃん、清さん）、京子さん（母の妹）にメッセージがあるんで、書いてくね。

「お父さんへ」

まあ、いろいろ迷惑かけたり、小さいことうるさく言ってきたかもしれないけど、感情的になつてる部分もあったのも事実だけど、お父さんのことが大切だから、いつてきたんだよ、そのことだけは絶対に、忘れないでね。

物をためない、部屋を綺麗にする、食生活に気をつける。ちゃんとやってる？こっちから見てるよ♪もううるさく言ってくれる人、いないでしょ？（笑）お父さんで、コントロールしてや！お父さんならできるから！

ほんと、身体、大切にね、瀬戸のお母さんのためにも、いさおとたけしのためにも、私の代わりのためにも、よろしくね。

ほんと、お父さんしか、私といっしょにいれるのは無理だっただろうなあ、ほんと、ありがとう。言葉で伝えたことはないけど、ほんと、好きなこといろいろ自由にさせてくれて、ありがとう。いろいろあったけど、大変なこともあったり、喧嘩することもあったからこそ、楽しかった。

最後にお父さんにメッセージ。

目の前の人が喜んでくれることを♪それをやったら、一番楽しい、面白い。そこには、目の前の人の笑顔とありがとうの感謝の言葉があるから。結婚してくれて、一緒に人生を歩んでくれてありがとう。

「いさおへ」

最後の最後、あんな形でごめん。でも、本当は、ありがとうだったんだよ。ごめん、いつもいつも、ああいう表現しかできなくてな……。でも、いさおならお母さんのこと、わかってくれるじゃろ？

お母さんもいさおのこと、誰よりもわかってるよ。

ぶつきらぼうで、言葉や表現じゃあ、お母さんと同じように不器用だけど、分かる人は分かるし、いさおの素晴らしさを誰よりもお母さんがわかってるから。

いさおは本当に、私の子とは思えないくらい（笑）、ほんとうに優しい。いつもおもってたよ。いろんなもの、さりげなくプレゼントしてくれてありがとな。

いさおと二人で、あの家でいたとき、凄く楽しかったよ。功の凄さも知っている。優しさ、強さ、愛の深さも知ってる。

だから、お父ちゃんも、お父さんも。京子もよろしくな。

今のまま、いさおらしく生きれば、それでよし！人と絶対に比べるな。

いさおが功であることが一番素晴らしいから。

私の子供でいてくれて、本当にありがとうプー！（笑）

「京子さんへ」

京子、約束守れんで、ごめん。でも、京子なら大丈夫なのをわかってるから、私は。人生、楽しみまくりな。男も作りな（笑）

私はな、全く人生後悔してないよ、今回は寿命。私が生まれる前に決めて来てたんよ。今は、こっちで、楽しんでるわ。山にいつでも瞬間移動でいけるで♪（笑）。バス代も、青春18切符もいらんわ（笑）

京子なら、大丈夫。自分に自信を持ちな！自分が思ってる以上に凄いんだよ。

それと、京子はいろんな人に守られてるから。私もおかあちゃんもあんたを見守ってるで。

まあ、私と違って、京子は、いろんな意味で、柔らかいからね、柔軟だからね☆笑 問題ないよ！  
敵も作らんし♪(笑)

あと、お父ちゃん、よろしくな。私も、京子からは見えないかもしれないけど、フオーローしてるから。京子、私の妹でありがとな！」

「お父ちゃん(清さん)へ」

お父ちゃん、最後まで、素直に自分の本当の気持ちを伝えられなくてごめんなさい。でも、実は、いつも感謝してました。

そして、お父ちゃんの一生懸命、仕事だけを楽しんでいるその姿、勘違いしてた時期もあった……  
だけど、今思えば、私が一番、お父ちゃんに似てたし、お父ちゃんのことかなりかつこよく思ってたんだね、自分でも気づいてなかった。

だって、お父ちゃんと同じように、自分が一番好きで、一番楽しい、山登り、きりえをしまくってたもんね……(笑)

お母ちゃんの時もごめんね。いろいろそういうつもりはなかった。お父ちゃんと同じ気持ち、お父ちゃんと同じく、お母ちゃんのことを大切にしたらただけ。誤解をさせてしまつて、ごめんなさい。ちゃんと素直に表現できなくて、ごめんなさい。

今は、こつちで、お母ちゃんと一緒に、お父ちゃんと京子のこと見守ってるから。  
あつ、あと、お父ちゃんが一番したいこと、一番楽しんでること。笑顔でいることが、私の望んでることだからね。

お父ちゃんが大切だからこそ、心配をし、そして、私の思い、お父ちゃんにこういふふうにしてほしいという思いを、お父ちゃんに押しつけ過ぎちゃつてごめんなさい。お父ちゃんのこと大切だったから。お父ちゃんを守りたかったから。

小さいころから表現ベタで、いつも強がつてごめんなさい。そんな私を、愛し続けてくれてありがとう、育ててくれてありがとう。お父ちゃんの子供で本当によかった、ありがとう。

そんなメッセージをお母さんからもらったわけです。まあ、確かにいいそうなことですな♪



唐松岳 (2001年)

僕がお母さんに、「本当の生きてる」ほうの世界の、宮殿で再会した時に、言おうと思ってることがあるんです、それは……

「口だけじゃなかったろうが！」

こんなにたくさんの人を幸せにできたぞ！喜ばせてきたぞ！元気にしてきたぞ！こんなに感謝されてきたぞ！心に火を灯してきたぞ！

目の前の人を大切にしてきまくってきたけんな！

だからこそ、お母さんと同じく、わが人生に一片の悔いなしと言えるわあ、ほんま楽しすぎた、ほんま、幸せ過ぎ♪

お母さんがいっつも、見えない存在で心の中に一緒にいてくれたけん、できたわあ、ありがとうな。お母さん、ありがとう」

『あなたの『本当の』幸せって、なんだくけ？なんだくけ？』